

## 2022 ジャビットカップ争奪・第22回春季大会

### 【実施要領】

目的：球春、新チームでの最初の大会で冬の間に練習で培った成果を実践で発揮し試合でのマナー・ルールの向上を図る。連盟の頂点を目指して悔いを残さず、最後まで諦めないプレーで力いっぱい戦って下さい。

ジャビット・カップ チャンピオンシップ大会への予選を兼ねることを目的に開催する。

(コロナ禍のまん延防止等重点措置が3/6迄延長した中ですが昨年同様に新型コロナウイルス感染症対策を行い当連盟として細心の注意を払いながら開催しますので各チーム・応援の父母の関係者一同でご協力をお願いします。)

主催：練馬区学童野球連盟 後援：練馬区 協賛：(株)読売巨人軍

#### 参加資格

- 1) 選手登録は連盟に加盟登録している小学3年～6年生
- 2) 選手10名以上20名以内(監督30・コーチ2名29/28・スコアラー1名を除く)
- 3) 合同チーム参加可能・条件
  - ① 上部大会への出場権利は発生しません。但し本大会の表彰には該当します。
  - ② 合同チームを編成しチーム名を登録すること。(1チーム10名以下に限る。)
  - ③ 所属チームのユニフォームで出場し背番号の重複を認める。
  - ④ 監督・コーチも所属チームのユニフォームで出場可能ですが、背番号は重複不可。
  - ⑤ メンバー票提出時は、氏名の後に所属チーム名を記載すること。
- 4) **試合前に登録票を本部への提出は、必要ありません。本部で冊子にて確認します。(昨年同様)**

日程：予選大会 3月13日～3月27日 本大会 5月22日～6月5日

表彰：優勝チーム(連盟)賞状・優勝旗・優勝杯・メダル / (巨人軍)ジャビットカップ・賞状・メダル  
準優勝チーム(連盟)賞状・準優勝杯・メダル / (巨人軍)賞状・メダル  
三位チーム(連盟)賞状・メダル \*各メダルは、20個を上限として授与する。

会場：大泉学園少年野球場・石神井松の風文化公園多目的広場・希望ヶ丘公園多目的運動場

開会式：中止 / 新型コロナウイルス感症防止の為

参加費：無料

抽選会：3月6日(日)16:00 松の風文化公園管理棟 2F多目的室 (受付開始15:30)

その他：スポーツ安全保険には、各チームごとに加入すること。

実行委員長 理事長：井本重喜

大会運営委員 事業本部長：伊藤武司、総務本部長：山縣泰彦

総務部長：羽石謙二、事業部長：幸田隆吉、審判部長：宇津野茂

2022年2月13日修正版

# 令和4年 2022 ジャビットカップ争奪・第22 回春季大会 競技上及び審判上その他注意事項

■本大会は2022年度公認野球規則、全軟連競技者必携を適用します。但し次の規定を優先する。

## ① 試合イニング

試合は、6回戦とするが試合開始後1時間30分を経過したら5回以前でもその会を最終回とし、新しいイニングに入らない。

## ② コールドゲーム

4回終了時 8点以上の得点差がついた場合は、コールドゲームとする。(決勝戦は除く。)

## ③ 特別継続試合

制限時間内で日没、降雨などにより5回以前に中止になった場合は、後日、継続試合として行う。

また、5回を過ぎて同点で試合が中止になった場合も後日、継続試合として行う。

## ④ タイブレイク方式

6回完了、若しくは試合開始から1時間30分を経過して同点の場合はタイブレイク方式を行う。

継続打順で前イニングの最終打者を一塁走者、その前を二塁走者として無死一塁・二塁の状態で行う。

タイブレイク方式は1イニング行い、その時点で勝敗が決定しない場合は、もう1イニング同じ条件で行う。

それでも勝敗が決定しない時は抽選で勝敗を決定する。

## ⑤ 出場資格

連盟に加盟登録している3年生以上の単独チームとするが、1チーム10名以下の場合は、同様の他チームと編成して合同チームとして参加を認める。

## ⑥ 投球回数制限

投手はタイブレイクも含め1日70球(5・6年)とする。4年生以下の場合は、60球までとする。

## ⑦ ベンチ入り

ベンチ入りは、登録された監督、コーチ2名、スコアラー、と選手20名以内とする。

但し、熱中症対策として保護者2名(女性)以内をベンチに入れることができる。

## ⑧ 使用球

ナガセケンコーJ号とする。全試合連盟より支給とする。

## ⑨ 用具等

試合中、打者、走者、次打者、ベンチコーチは公認の両耳付きヘルメット、捕手は、公認マスク、プロテクター、レガース、ヘルメット、ファールカップを着用し、バットは、公認マーク入りを使用する。ベンチ内での電子機器(携帯電話、パソコン、カメラ等)の持ち込み禁止としメガホンの使用は、1個のみ監督、コーチの使用を認める。

但し電子スコア記録用としての電子機器は1台認める。

## ⑩ その他

(1) 抽選番号の若いチームが一塁側とする。先攻、後攻はジャンケンで決める。シートノックは、行なわない。

(2) 試合開始予定時刻30分前に大会本部にメンバー票4部を提出すること。

(3) 次の試合の先発バッテリーは、前の試合開始後60分を経過するか、5回終了以降にグラウンド内での投球練習ができる。この際、指導者が一人、選手の安全管理を目的として付き添いを行うこと。

(4) 投手の準備投球は、初回が5球以内とし、次回からは3球とする。

(5) 両チーム指導者は、試合終了後にグラウンド整備を行うものとする。

(6) 極端に攻撃が長引いた場合は選手の体調を考慮して主催者・審判員は適時給水タイムを取らせることとする。尚、給水タイムは試合時間に含めない。気温条件にもよるが、守備時間15分を目安とする。

(7) ベンチではマスク着用を基本とするが、気温の高い日は熱中症防止のため任意とする場合があるので審判員の指示に従うこと。

(8) 相手チームへの野次や品位のない言動及び選手への恫喝、暴言は認めない。注意を受けたにも関わらず続けた場合は審判員の判断によりチーム責任者とし、監督を退場とする。

## 大会開催・期間中の感染予防対策の施策(大会規約細則)

### ★各チーム選手・監督コーチ、スコアラー、給水担当

1. 自宅を出る際に検温を行い風邪症状の有無、だるさ・息苦しさの有無、味覚症状を確認する。  
※大会本部に健康チェックシート提出(試合ごとに)
  1. で症状がある場合および以下の場合の選手・コーチ(体温37.5度以上等)は出場を取りやめる。  
・同居家族や親近に新型コロナウイルス感染が疑われる人がいる
2. 試合会場に着くまでおよび会場内(試合開始前待機中など)はマスクの着用を義務付ける。
3. 人との距離をある程度確保し、ベンチ内でも距離を保つようにする。
4. 試合前、試合中、試合後は、円陣・声出し・応援を行わない。
5. 試合開始15分前に集合し、待機中のミーティング、更衣、食事を禁止する。  
試合終了後は、速やかにグラウンド外に出て帰る準備をする。
6. 試合登録選手のマスクは任意とする。監督およびベンチ内のスタッフは全員着用とする。
7. ハイタッチ、グータッチなどの肌が触れ合う行為は控える。
8. バットは、1順を目途に消毒をする。バッティング手袋を使用しないときは使用前に消毒する。
9. ベンチ外の応援は密集・密接にならないよう、大声の応援も行わない。
10. チーム共用のジャグの使用を禁止する。
11. 試合中の審判へのお茶出しは行わない。
12. チーム内の選手、コーチ、(ベンチ入りの者)に陽性者、濃厚接触者が出た場合は、対象者の出場有無、大会出場について練馬区のガイドラインに沿って保護者を含むチーム判断とします。  
\* 練馬区ホームページ【検査で陽性になった方・濃厚接種者になった方へ-感染症-練馬区】で確認できます。

### ★大会運営側の対応

1. チームから提出された『大会参加者 健康チェックシート』の確認を行う。  
また、試合チームから『来場者 健康チェックシート』を受け取り確認を行う。
2. 大会運営者、審判員は本部席にある健康チェックシートへの記入を行う。
3. 試合会場に消毒液を常備する。(連盟準備)
4. 試合間のインターバルを通常より長く設ける。
5. 大会運営は、慣例・慣習にとらわれずに試合に影響がない事項では密集を避ける。
6. 感染者発生の報告を受けた場合、大会本部経由で練馬区体育協会に報告し、二次感染防止を徹底する。
7. 試合後2週間以内に万が一感染症を発症した場合、連盟に濃厚接触者の有無等を報告する。
8. 審判クルー、記録員、控え審判はマスクを着用する。
9. 先行、後攻を決める際、選手同士の握手は行わないようにする。
10. 試合開始、終了の整列、挨拶については、ベンチ前で行う。  
また、終了後の他チームへのエール交換は行わせないようにし速やかにグラウンド外に出るよう誘導する。
11. 施設内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。